



親イルカに寄り添って泳ぐ赤ちゃんイルカ(手前左) = 2日午後、清水港内

清水港のイルカに赤ちゃん

専門家「人工的環境で繁殖レア」

2020年6月から清水港内にすみ着いているミナミバンドウイルカの群れに、繁殖が確認されたことが2日までに分かった。体長1弱の赤ちゃんイルカ1頭は生後1カ月以内とみられ、大人のイルカ5頭に寄り添われながら遊覧船の近くまで寄ってくる様子が観察できる。専門家は「人工的な環境で繁殖が行われたレアケース」と指摘する。

富士山清水港クルーズによると、最初に確認できたのは3月31日午前の「イルカウォッチングクルーズツアー」。1日4回の定期便以外の特別便で乗客80人が乗っていた。2回目は4月2日午後の定期便。いずれも目撃した同社営業部の鈴木佳奈子さん(24)は「いつにも増して皆で固まって泳いでいた」と話した。観察できたのはいずれも港内西側に

ある清水エル・エヌ・ジー袖師基地付近の海域。鈴木さんは「寝床にしているのかな」と推測。東海大海洋学部の大泉宏教授(海洋生態学)は「人工的な環境に定住すること自体が珍しく、繁殖は知る限り初めて」と語った。地元観光関係者は「大型連休に向け清水の観光振興に明るい話題が増えた」と期待をにじませた。(2024年4月3日付)

【上の記事を読んで次の問いに答えましょう】

- ①写真のイルカはどこにすみ着いていますか。()
②親イルカに寄り添って泳ぐ赤ちゃんイルカはどのくらいのおおきさがありますか。()
③記事には、このイルカたちのどんなところが珍しいと書いてありますか。()
④このイルカたちを見た人は、どんな気持ちになると思いますか。30字以内で書きましよう(句読点を含みます)。

Table with 10 columns and 2 rows for writing answers.

【学習のポイント】

※対象は小学校~中学校/生活、理科、総合

「 」の中に注目して記事を読み、自分がその場にいることを想像しながら答えよう。

解答例

- ①清水港(内)
②1弱
③(例)人工的な環境で繁殖が行われたところ。
人工的な環境に定住しているところ。 など
④(例)親イルカに寄り添って泳ぐ赤ちゃんイルカがかわいい。(25字)
いつにも増して皆で固まって泳いでいて仲がい

いなあ。(25字)
清水の観光のために明るい話題が増えてうれし
いな。(24字) など

解説

- ①見出しや写真の説明、本文1行目から読みとろう。
②本文の4行目に書かれているよ。親イルカの体長も予想できそうだね。

- ③本文の8~9行目や24~26行目などから読みとろう。とても、レア(まれ・珍しい)なことなんだね。
④まず、見た人の気持ちに関係しそうな表現を記事から見つけよう。それを使って文を作り、字数に合わせて短く整えよう。

作問者は静岡新聞NIEコーディネーター・矢沢和宏



もっとやってみよう!と思ったら、「静岡新聞NIEワークシート」を検索してね。